経営比較分析表（令和3年度決算）

北海道砂川市　市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	自治体職員
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	28	対象	ド 透 Ｉ 未 訓 ガ	救 臨 が 感 へ 災 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
16,169	53,186	－	第２種該当	７ ： １

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
408	－	6
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
80	4	498
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
389	－	389

グラフ凡例
■　当該病院値（当該値）
ー　類似病院平均値（平均値）
【】　令和3年度全国平均

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

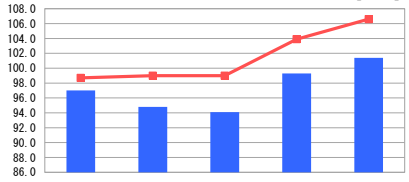
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

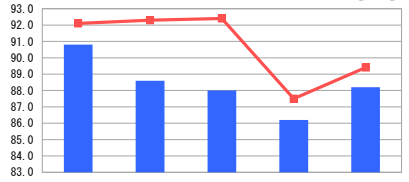
【106.2】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	97.0	94.8	94.1	99.3	101.4
平均値	98.7	99.0	99.0	103.9	106.6

②医業収支比率(%)

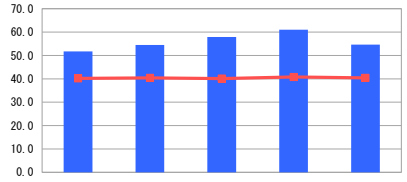
【86.6】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	90.8	88.6	88.0	86.2	88.2
平均値	92.1	92.3	92.4	87.5	89.4

③累積欠損金比率(%)

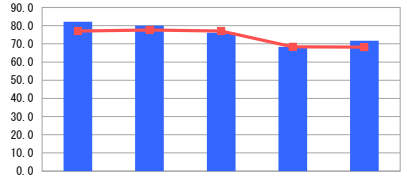
【70.7】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	51.7	54.5	57.9	61.0	54.6
平均値	40.2	40.4	40.1	40.8	40.4

④病床利用率(%)

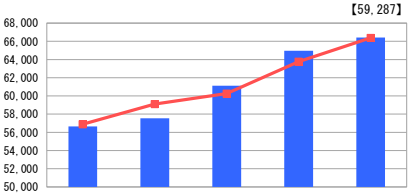
【67.1】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	82.2	80.0	76.1	68.4	71.7
平均値	77.0	77.6	77.0	68.4	68.2

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

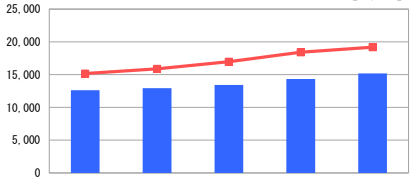
【59,287】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	56,639	57,551	61,116	64,960	66,410
平均値	56,892	59,108	60,271	63,766	66,386

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

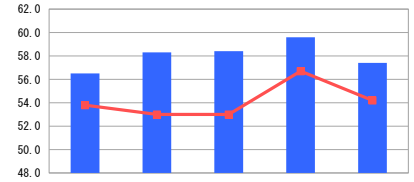
【17,202】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	12,625	12,927	13,417	14,332	15,187
平均値	15,171	15,887	16,979	18,423	19,190

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

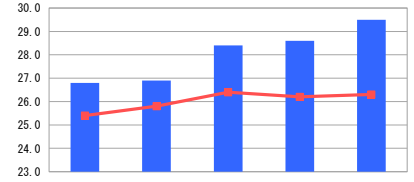
【56.4】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	56.5	58.3	58.4	59.6	57.4
平均値	53.8	53.0	53.0	56.7	54.2

⑧材料費対医業収益比率(%)

【24.8】

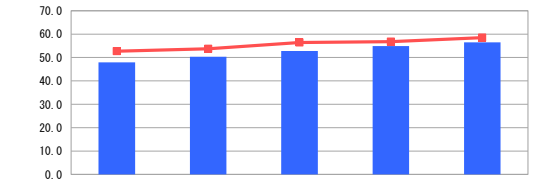


	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	26.8	26.9	28.4	28.6	29.5
平均値	25.4	25.8	26.4	26.2	26.3

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

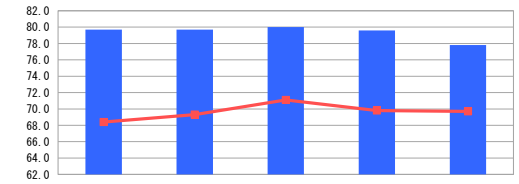
【56.0】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	47.9	50.3	52.8	54.9	56.5
平均値	52.7	53.7	56.4	56.8	58.5

②器械備品減価償却率(%)

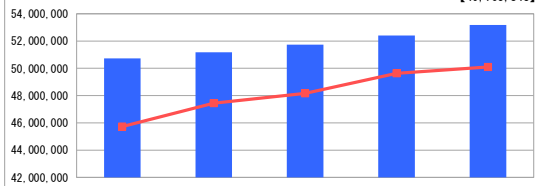
【70.7】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	79.7	79.7	80.0	79.6	77.8
平均値	68.4	69.3	71.1	69.8	69.7

③１床当たり有形固定資産(円)

【49,765,843】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	50,732,412	51,168,526	51,729,743	52,401,791	53,178,896
平均値	45,729,936	47,442,477	48,164,556	49,637,382	50,098,024

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

Ⅰ 地域において担っている役割

当院は、慢性期以外の病床機能を有し、地域センター病院や地域救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院の他、多数の指定を受け、365日断らない救急医療の実施や高度急性期から訪問看護、看取りなどの在宅・予防医療まで、幅広い医療を展開し中空知医療圏全体から患者を受け入れており、地域医療の充実を図っております。
　また、大学病院との連携や、圏域内の医療機関、行政、介護事業所、薬局等と連携し、地域包括ケアシステムの構築を推進しております。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・「経常収支比率」は、新型コロナウイルス感染症に伴う補助金で一定程度補填されたものの、「医業収支比率」は病院改築に伴う建物、器械備品の減価償却費が多額であること、診療制限や、患者の受診控え等が影響し100%を下回る厳しい状況にあります。
・「病床利用率」は、新型コロナウイルス感染症による影響により平均値を下回っていないものの低い病床利用率が継続しています
・「入院患者及び外来患者１人１日当たり収益」は、外来については平均値を下回るものの職員が一丸となって増収対策を行っていることから年々増加しているところです。
・「職員給与費対医業収益比率」の増加は、現行の診療報酬に係る政策が、技術や人的サービスに再配分され医師、看護師等を増員し、医療提供能力を向上させることで診療単価の増加を目指す方向へ変化してきており、目まぐるしく変化する医療情勢に素早く対応するため、医療スタッフを確保していることもありますが、新型コロナウイルス感染症による医業収益の悪化が影響しています。
・「材料費対医業収益比率」は、薬価の引下げや高額な抗がん剤等を使用する患者の増加もありますが、高度急性期医療を担う当院としては避けては通れない問題でありますので、今後においてもベンチマークなど活用し購入価格の見直しに努めて参ります。

2. 老朽化の状況について

　当院は10年前に改築事業が完了しました。
　①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率が年々高い数値となっているのは、改築時に更新等行った医療機器が耐用年数に近付いている、または超過しているものですが、平均値を下回っているところです。③１床当たり有形固定資産においては高い数値となっていますが、当院の役割から、感染症対策や放射線機器をはじめとする高額な医療機器については、高度化する医療等に対応するため計画的な投資を行っているもので、今後においても計画的、効率的な投資に努めて参ります。

全体総括

　令和３年度は、未だ終息が見えないコロナ禍の中、職員の創意工夫による感染症対策強化と医療提供体制の両立を図りました。
　収益では、前年度の新型コロナウイルス感染症による手術や検査の延期、患者の受診抑制などの影響が緩和され、診療収益は持ち直しつつあり、新型コロナウイルス感染症に伴う補助金により一定程度補填されたところです。
　費用では病院建設に係る企業債の元利償還金や減価償却費などが計上される中、経費縮減等に取組み、前述の要素もあり純利益を計上しました。キャッシュ・フローでは資金が増加し、引き続き厳しい経営状況ではありますが、医療圏における中核病院として安定的、継続的な医療を提供するべく、経営基盤の強化を図り、今後においても健全経営に努めて参ります。